

関係者の皆様へ

東京都立小平特別支援学校長

加藤 洋一

(公印省略)

令和2年度ICT研修会夏季連続講座「ICTの活用と可能性」の御案内について

～新しい時代（GIGAスクール構想）に向けたICT機器の活用について～

皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年度に引き続き、重度の障害をもつ児童・生徒におけるコミュニケーション能力向上を図るため、視線入力装置の活用と可能性及びiPadの活用と可能性、プログラミング学習について下記の通り、伊藤 史人氏、福島 勇氏、海老沢 穰氏、高松 崇氏、谷本 式慶氏による講演と実践紹介のワークショップ研修会を実施することとなりました。御多忙中とは思いますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

- 趣 旨** 障害のある児童・生徒のコミュニケーション指導の改善を図る
～新しい時代（GIGAスクール構想）に向けたICT機器の活用について～
- 日 時** (第1日) 令和2年8月3日(月) 9時00分から17時00分まで
(第2日) 令和2年8月4日(火) 9時00分から17時00分まで
(第3日) 令和2年8月5日(水) 9時00分から17時00分まで
- 会 場** (第1日、第2日、第3日)
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール1、2 多目的ホール、会議室 別紙参照
- 対象者** 病院や在宅訪問の重度・重複障害児を担当する教職員及び本病院に入院中及び通院中の児童・生徒、保護者、東京都病弱教育特別支援学校等教職員（病弱教育支援員も含む）、
(別紙の参加申し込み用紙に御記入の上、メールにて送信ください。)
定員 60名 その他 オンライン発信（検討中）
- 講演テーマ** 「新しい時代（GIGAスクール構想）に向けたICT機器の活用について」
- 講師及び助言者**

島根大学総合理工学研究科 助教	伊藤 史人 氏
福岡市立今津特別支援学校教諭	福島 勇 氏
NPO 支援機器普及促進協会 理事長	高松 崇 氏
東京都立石神井特別支援学校 指導教諭	海老沢 穰 氏
東京都立小平特別支援学校 指導教諭	谷本 式慶 氏

7 内 容

第1日 8月3日(月) 講師 伊藤 史人 氏
～最新の視線入力装置の活用と可能性について(仮称)～

9:00 挨拶

9:05 講演及びワークショップ(伊藤氏)

① 最新の視線入力装置による学習ソフトの活用

② 視線入力装置によるスポーツアプリの活用

12:00 休憩

13:00 講演及びワークショップ

講師 伊藤 史人 氏

助言者 福島 勇 氏、 谷本 式慶 氏

③ 重度重複児の視線入力装置ソフトの活用(福島 勇 氏)

④ 重度重複児の視線入力ソフトの活用と評価(谷本 式慶 氏)

16:00 シンポジウム「視線入力装置の可能性について」

17:00 終了

第2日 8月4日(火) 講師 福島 勇 氏

助言者 高松 崇 氏、谷本 式慶 氏

～特別支援教育に役立つ最新OS(iPad OS)の活用について(仮称)～

9:00 挨拶

9:05 講演及びワークショップ(iPad OSのアプリの活用①)(福島 勇 氏)

12:30 休憩

13:30 講演及びワークショップ(iPad OSのアプリの活用②)(福島 勇 氏)

15:30 講演及びワークショップ(「iPad OSの可能性について」)(高松 崇 氏)

17:00 終了

第3日 8月5日(水) 講師 高松 崇 氏

助言者 福島 勇 氏、海老沢 穰 氏、 谷本 式慶 氏

～iPadOSを活用した最新アプリの活用について～

9:00 挨拶

9:05 講演及びワークショップ

12:00 休憩

講師 講師 海老沢 穰 氏

助言者 高松 崇 氏、 福島 勇 氏、 伊藤 史人 氏、 谷本 式慶 氏

～ICTを活用したプログラミングの活用について

13:00 講演及びワークショップ

15:30 休憩

15:40 講義及びワークショップ～「新しい時代のICTの可能性について」

17:00 終了

8 その他

第2日(8月4日)、第3日(8月5日)に参加者はiPadをできる限りご持参ください。

東京都立特別支援学校の教職員の皆様は貴校の副校長に必ずご相談の上、ご持参をお願いいたします。

9 新型コロナウイルス感染対策に関する研修会の参加について

- ・参加者は会場の受付をする前と会場入室時、トイレの前後などは手指衛生を行ってください。
 - ・参加者は会場に入場する前に検温して入場してください。
(発熱者、症状があるものは参加できません。)
 - ・参加者は受付後、指定された会場の場所に着席してください。
 - ・参加者間は2mの距離をとり、実施します。(出入り口ドアは開放する)
(各部屋において、上記条件を満たせる人数を上限とする)
 - ・室内での食事は会話をせずに行ってください。
 - ・全員必ずマスク持参して研修会中は着用してください。
 - ・参加者の荷物などは全て、毎日持参してください。
- *すべて使用後は、主催者がルビスタで環境整備を行うため、(開催者が持参すること)
- *今後、新型コロナウイルスの感染者数の推移によって上記使用条件は遠隔通信の配信に変更される可能性があります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上、研修会実施にあたり、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院感染課と確認された事項です。

10 問い合わせ

東京都立小平特別支援学校武蔵分教室
副校長 櫻井 淳一
主幹教諭 田添 敦孝
メール Nobuyuki_Tazoe@member.metro.tokyo.jp
〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1
国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター院内
電話、FAX: 042-344-4537

令和2年度東京都立小平特別支援学校

ICT 研修会夏季連続講座ご案内

～新しい時代（GIGA スクール構想）に向けた ICT 機器の活用について～

皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新しい時代（GIGAスクール構想）に向けたICT機器の活用について重度の障害をもつ児童・生徒におけるコミュニケーション能力向上を図るため、視線入力装置の活用と可能性及びiPadの活用と可能性について下記の通り、伊藤 史人氏、福島 勇氏、海老沢 穰氏、高松 崇氏、谷本 式慶氏による講演と実践紹介のワークショップ研修会を実施することとなりました。御多忙中とは思いますが、多くの皆様の参加をお待ちしております。皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。尚、今回は新型コロナウイルス感染対応の研修となりますので、参加者の皆様はご理解とご協力をどうぞよろしくお願いたします。

日 時 (第1日) 令和元年8月3日 (月) 9時00分から17時00分まで
(第2日) 令和元年8月4日 (火) 9時00分から17時00分まで
(第3日) 令和元年8月5日 (水) 9時00分から17時00分まで

会 場 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 研修棟
ユニバーサルホール1、2等 別紙参照

講師及び助言者

島根大学総合理工学研究科 助教	伊藤 史人 氏
福岡市立今津特別支援学校教諭	福島 勇 氏
NPO 支援機器普及促進協会 理事長	高松 崇 氏
東京都立石神井特別支援学校 指導教諭	海老沢 穰 氏
東京都立小平特別支援学校 指導教諭	谷本 式慶 氏

対象者 病院や在宅訪問の重度・重複障害児を担当する教職員（病弱教育支援員も含む）及び本病院に入院中及び通院中の児童・生徒、保護者、東京都肢体不自由教育教職員、医療関係者等、（学校 HP から別紙の参加申し込み用紙に御記入の上、メールにて送信ください。）
定員60名 その他 オンライン発信（検討中）

新型コロナウイルス感染対策に関する研修会の参加者について

- ・参加者は会場の受付をする前と会場入場時、トイレの前後などは手指衛生を行ってください。
- ・参加者は会場に入場する前に検温して入場してください。
（発熱者、症状があるものは参加できません。）
- ・参加者は受付後、指定された会場の場所に着席してください。
- ・全員必ずマスク持参して研修会中は着用してください。
- ・参加者の荷物などは全て、毎日持参してください。

*今後、新型コロナウイルスの感染者数の推移によって上記使用条件は遠隔通信の配信に変更される可能性があります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

問い合わせ

東京都立小平特別支援学校武蔵分教室
副校長 櫻井 淳一
主幹教諭 田添 敦孝

〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター院内

電話、FAX: 042-344-4537

令和2年 月 日

※ 令和2年7月27日(月)までにメールで送信下さい。
大変に申し訳ありませんが、会場の都合上、先着60名様で締め切らせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。また、新型コロナウイルスの感染者数の推移によってオンライン配信に変更される可能性があります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

メールアドレス Nobuyuki_Tazoe@member.metro.tokyo.jp

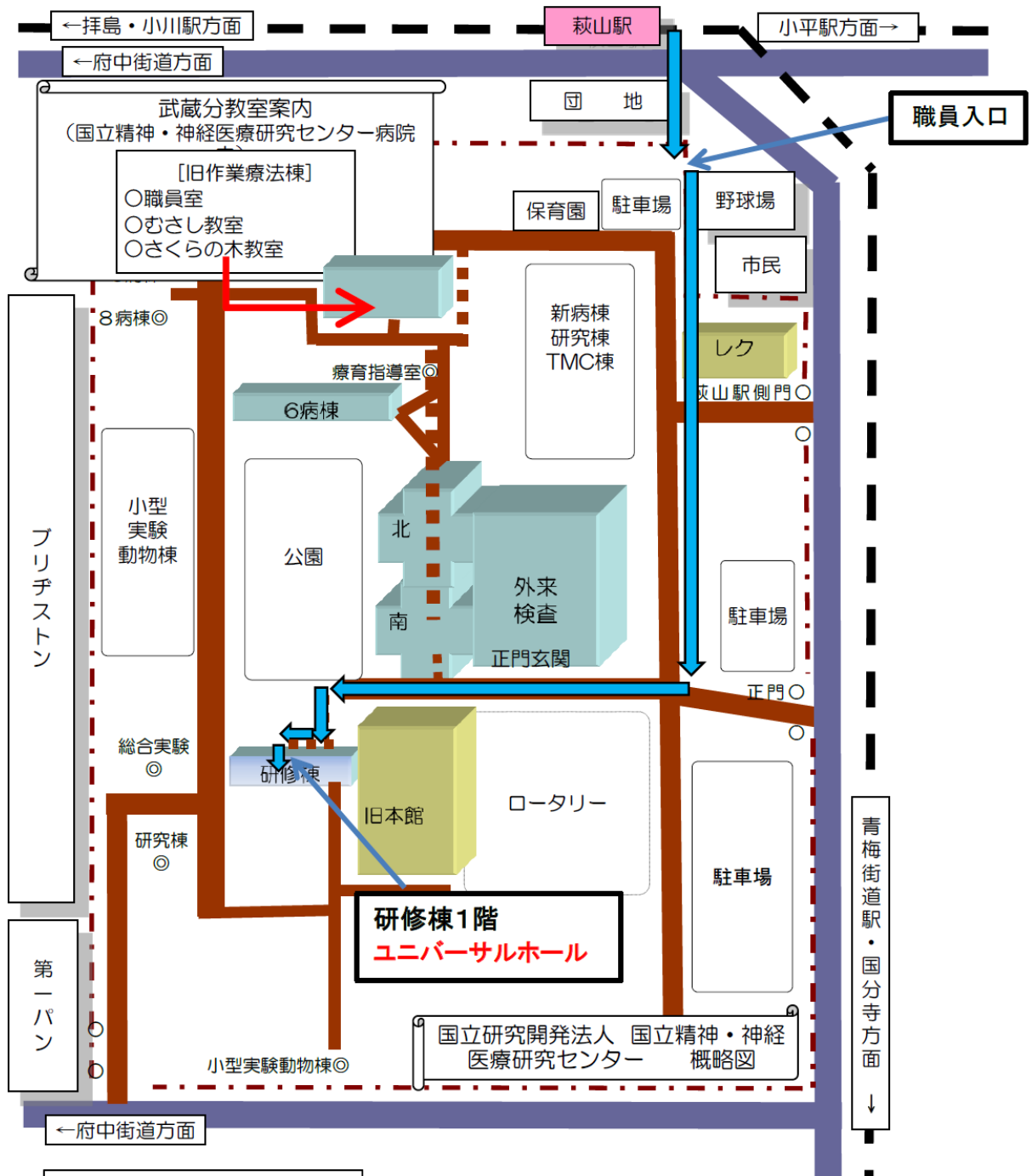
令和2年度 ICT 研修会夏季連続講座「ICTの活用と可能性」参加希望申込書

	参加者氏名	所 属	職 種	希望に○をしてください。	メールアドレス	備考欄
1				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加		
2				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加		
3				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加		
4				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加		
5				・ 第1日参加 ・ 第2日参加 ・ 第3日参加		

<連絡> 東京都立小平特別支援学校武蔵分教室 主幹教諭 田添敦孝
〒187-0031 東京都小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
電話 042-344-4537 メールアドレス Nobuyuki_Tazoe@member.metro.tokyo.jp

研修会場

〒187-0031 東京都小平市小川東町4-1-1
 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院
 電話、FAX: 042-344-4537



交通案内
 西武線 萩山駅 徒歩 5分
 西武線 青梅街道駅 徒歩 15分
 JR線 新小平駅 徒歩 15分

研修棟1階
ユニバーサルホール